



きよかわむら

社協だより

2016

3

No.175



心も体も

ぽかぽか

ふれあい昼食会で寄せ鍋

ふれあい昼食会が2月4日(木)村保健福祉センターやまびこ館で行われ、15人が参加しました。

この日のメニューは「寄せ鍋」。鱈、鰯のつみれといった魚介類に、白菜、えのきだけ、長ねぎ等の新鮮な野菜、更には豚肉、鶏団子、豆腐が入った豪華鍋に参加者は笑みを浮かべていました(写真)。

寄せ鍋を提案したもみじ会の大久保顧問は「一人ではなかなか鍋を食べる機会がありません。気の合う仲間と一緒に楽しんでいただければ」と提案した理由を話していました。

参加者は、「やっぱり鍋は大勢で食べた方が美味しいね。野菜も魚も一杯食べられてよかった。おかげさまで体が温まったよ」と嬉しそうでした。

3月号 おもな内容

- | | | | |
|--------------|----|-------------------|----|
| ●特集 里親制度 | 2P | ●デイサービスの話題 | 3P |
| ●災害ボランティアの集い | 3P | いろいろ座公演・あおぞら保育園交流 | |
| | | ●社協からのお知らせ | 4P |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。

特集

里親制度



親に代わって子どもを育てる家庭のことを、児童福祉法で「里親」と呼びます。里親制度とは、親の病気や離婚、虐待などさまざまな事情により家庭で生活できなくなった子どものために、あたたかい愛情と理解をもって育てていただき、子どもの福祉を保障しようとする制度です。今月は、里親制度についてご紹介します。

種類

里親には4つの種類がありますが、主に、様々な事情により家族と暮らせない子どもを一定期間、自分の家庭で養育する「養育里親」と、養子縁組によって、子どもの養親となることを希望する「養子縁組を希望する里親」に大別されます。特に「養育里親」は、里親全体の8割以上の比率を占めています。

支援体制

研修以外に、里親専門の相談員等が、電話や訪問により、里親の話を聞いて一緒に解決方法を考えてくれます。また、地域の里親会による支援や交流活動もあります。



登録方法

まずはお住まいの児童相談所に相談します。児童相談所で里親制度の詳細について説明を受け、里



親についてご理解いただいた上で申請します。その後、児童相談所の担当職員による家庭訪問、調査を受けます。その間に、施設実習を含む数日間の研修を受講し、登録となります。なお、研修内容は、里親の種類によって異なります。

養育費

「気持ちはあるけれど経済的に厳しい」という方がいらっしゃるかもしれません。里親には子どもの年齢に応じて、生活費、学校教育費、進学仕度費、医療費などが公費で支給されます。また、養育里親等には里親手当が支給されます。

里親の人数

全国で登録されている里親数は9,441人、委託を受けて活動している里親数は3,560人となっています。

※数字は平成26年3月31日現在

里親の感想

3歳の彼が我が家の一員となって間もなく1年になります。委託当初、何かを訴えるような、まるでサイレンのような泣き方に戸惑うことがありましたが、半年を過ぎた頃から受け止め方が変わり、結果彼も笑顔が増えるようになりました。彼の笑顔は、私たち夫婦の元気の源です。

※厚生労働省、神奈川県ホームページを基に作成



いかがでしたか。里親制度は、家庭での生活を通じて、子どもが成長する上で極めて重要な特定の大人との愛着関係の中で養育を行うことにより、子どもの健全な育成を図る有意義な制度です。興味・関心のある方はお住まいの児童相談所(清川村は厚木児童相談所《☎046-224-1111(代表)》)へお問い合わせください。

災害ボランティア活動の スタートに向けて

災害ボランティアのついで

2月16日、村保健福祉センターやまびこ館において、「災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座受講者のついで」が開催され、15人が参加しました。これは、昨年村社協が主催した同講座を受講された住民を対象に、講座の振り返りと今後の活動の方向性を話し合うために実施したものです。講座の振り返りでは、「災害ボランティアセンターの受付に多くの人が一度に集中してしまい、何らかの工夫が必要だと思っただ」「もっと訓練を重ねてしっかりと対応できるようにしたい」といった前向きな意見が多数上がりました。

今後は「災害ボランティアセンター」立ち上げ訓練の定期的実施を基本に、他の市町の訓練の視察や、街歩きを通じて村の危険箇所を発見していくことを確認し合いました。



いろいろ座公演

① テイサービスの話題

2月5日、デイサービスの会場は「いろいろ座」の特設会場に早変わりし、団員による歌や踊りが披露されました。公演の目玉は、座長の三浦さん（清水ヶ丘）による津軽三味線。迫力ある演奏に会場は拍手喝采でした。利用者からは、「今日は楽しかったです。三味線の音に圧倒されました」「賑やかで楽しかったです。また来て欲しいね」と話していました。



あおぞら保育園と交流

② テイサービスの話題

園児たちと交流を図ろうと、2月12日にデイサービスの利用者全員であおぞら保育園を訪問しました。利用者は、この日のために練習を続けてきたハンドベルと歌を披露。練習の成果をしっかりと出すことができました。一方、園児たちは桃太郎の童話にアレンジを加えた「7人の桃太郎」と「親ゆび姫」を元気にっばいに披露してくれました。劇を見終えた利用者からは「かわいかった、よくセリフや踊りを覚えたね」「元気がいっぱい、楽しかったです」と感想がありました。

あおぞら保育園とは、これから園児のお散歩の際にデイサービスに寄って頂いたり、交流を深めていきたいと思えます。



「獄窓記」から13年

司法福祉の現場と取り組みはどう変わったか

～作家山本譲司氏は語る(司法福祉最前線 Vol.3)

日時 平成28年3月13日(日)
午後1時30分～4時40分
会場 パシフィコ横浜
会議センター会議室5F 501
内容 一部 講演会 講師 山本譲司氏
二部 シンポジウム

○基調報告
山下康氏(神奈川県社会福祉士会会長)
コメンテーター 山本譲司氏
(シンポジスト)
徳田暁氏(法律事務所インテグリティ・弁護士)
牧野賢一氏(NPO法人UCHI理事長・所長)
岩屋文夫氏(中区障害者地域活動ホーム相談員)

定員 200人(入場料:無料)
申込 3月7日までにFAXにてお申し込み
ください。※託児有り(事前申込)

※詳しい内容及び申込用紙につきましては、清川村社協ホームページにアップしますのでご確認ください。社協ホームページ <http://www.kiyokawa-shakyo.jp>

お問い合わせ先

公益社団法人神奈川県社会福祉士会事務局
☎045-317-2045

寄付をありがとうございます

平成28年1月～平成28年2月

○匿名の方 10,000円

回収にご協力ありがとうございます

平成28年1月～平成28年2月

○ペットボトルキャップ 6件
○古切手 3件
○使用済みプリペイドカード 2件

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

平成28年度ボランティア保険の受付を開始します

平成27年度にご加入されましたボランティア保険は、平成28年3月31日で有効期間が終了します。4月以降も安心してボランティア活動が行えるようボランティア保険の加入をお勧めいたします。

[補償内容・保険料(年額)]

		補償金額・保険料	
		Aプラン	Bプラン
死亡・後遺障害		1,200万円	1,800万円
後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
入院保険金日額		6,500円	10,000円
手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額		4,000円	6,000円
特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各保証金額(保険金額)に同じ	
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
保険料 (年額)	基本タイプ	300円	450円
	天災タイプ	430円	650円

※保険加入申込用紙は社協窓口にあります。
※天災タイプでは、天災(地震、噴火、または津波に起因する被保険者自身のケガを保証しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

お問い合わせ、申込み先

清川村社協 ☎046-287-1118

はあじ うおーむ

東日本大震災より5年が経過しようとしています。被災地では、今もボランティアによる復興支援が行われています。直接ボランティアが行えなくても、被災地への観光や特産物の購入も、被災地の復興につながるものとして、歓迎されています。